

指導技術		観点別の授業改善の視点				
教師の指導 (授業規律・指導技術・発問・板書・個別指導・ノート指導等)		関心・意欲・態度を向上させる手だて	「話す・聞く」の力を向上させるための手だて	「読む」力を向上させるための手だて	「書く」力の向上をさせるための手だて	言語や文化への知識・理解を向上させるための手だて
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイム着席の徹底。 ・授業開始後に準備物をロッカーに取りにいかないよう指導する。 ・黒板教卓周り等の教室環境整備にも注意する。(チョークの補充等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を振り返り、本時の目標や取組内容を明確にする。 ・必要に応じて便覧や図版、辞書等を活用する。(視覚情報で興味感心を喚起) ・小テストやプリントは授業開始直後、または関連生のある展開部分で返却する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞く姿勢をとらせて本時の目標を聞き取り、理解を確認する。 ・指名や挙手によって発表させる。 ・目的をもって聞き取り、適切な内容を相手の立場に立って話す意図の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・読めない漢字やわからない語句の確認をする。(辞書の活用、ペア活動等) ・教師の範読、生徒の音読、班読み等で、教材に入りやすく工夫する。 ・該当箇所近くの文章を読む、段落で読む、といった段階を踏むよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作者や登場人物、背景の確認 ・本時のノートのとり方を指示し、各自が工夫してノートを作ることができるようにする。(口頭の書き取りなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字ワーク課題や小テストを実施し、知識理解の定着を図る。 ・便覧や辞書を机上に準備させておく。「聞く姿勢」とは、教師の話に耳だけ傾けるのではなく、顔を上げ、体を発信者に向けて聞くことに集中する状態
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・チョークの色、マーク等を工夫し、ノートに筆記しやすい板書を工夫する。 ・発問を工夫し、課題に対する取り組み方、解決方法を説明する。 ・なるべく多く発言発表できる授業形態を工夫する。(理想は授業内に一人1回の発言。難しい場合は、グループで話し合い、発言者に自らの意見・考えをふまえる。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導により、生徒一人一人の作業の進展状況の把握に努め能力に応じた声掛け指導を心掛ける。 ・学力向上支援講師活用による細やかな声掛け指導支援を心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意図的継続的に聞き取りの学習を行う。 ・各種の発表活動、話し合い活動等を工夫して行う。 ・課題の把握が容易にできる説明の工夫、時間の目安を決めての課題への取り組み、意見を出し合っの課題に対する理解を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の形態に即した読み取りの基本を身に付けるため、発問やワークシートの工夫をする。 ・班や学級内で互いに読みあい、相互評価を行い表現や視点について学ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情景描写と心情描写をバランス良く扱い、内容をまとめて書く活動を行う。 ・趣旨を明確にして要約の取組を実践する。 ・單元ごとに目的を明確にした「書くこと」を取り入れ、誤字を含めた添削指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に小テストを実施し、力の向上と定着を図る。 ・学力向上支援講師が参加する授業では、即時の添削指導をし、生徒にすみやかに学習効果を還元する。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のまとめをするとともに、本時の目標が達成できたか確認する。 ・次時の予告、提出物や家庭学習の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よい意見や発表を板書などを用いて全体で再確認する。 ・発言による活動等が上手くできたかを振り返らせる。 ・各自の学習内容を振り返らせ次時につなげさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の添削指導や友人の発言、発表から、話した内容や聞き取った情報をまとめる。 ・ノートをまとめる時間、確認する時間を3～5分程度とる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の内容を振り返り、ノートやワークシートへの記入と文章へのマーカーなど、一人一人の理解度をチェックさせる。 ・ノート回収の際に、個別に助言を与える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の内容を振り返り、ノートやワークシートへの記入と感想や考察などの創作した文章の確認をさせる。 ・ノート回収の際に、個別に助言を与える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・單元によって物語や説明文の内容把握を行う。 ・古文は歴史的仮名遣いや、主語の省略、助詞の省略などの特有の決まりごとの理解を深め、古文に親しむ態度を育てる。漢文も同様である。

